

葉山災害ボランティアネットワーク  
**HSVΝ**

**2019 年度総会 議案書**

日時 2019 年 6 月 2 日（日）  
午後 1 時 30 分～2 時 20 分

場所 葉山町消防署 地下講堂

\*\*\* 総会 次第 \*\*\*

1. 開会

2. 代表挨拶

3. 議長選出

5. 議案

第1号議案 平成30(2018)年度活動報告及び  
同収支報告並びに会計監査報告

第2号議案 2019年度活動計画(案)

第3号議案 2019年度予算(案)

第4号議案 規約改正(案)

第5号議案 役員改選(案)

6. 議長解任

7. 閉会

—休憩—

\*\*\* 記念 講演 \*\*\*

◇講師

すこやかいきいき協議会代表

てんでんこプロジェクト代表

服部 誠 氏

◇演題

『子どもを育てることから広げる防災教育』

## 【第1号議案】平成30(2018)年度活動報告、同収支報告及び会計監査報告

### 活動報告

平成30年度は基本重点事項として次の4点を掲げました。

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 基本重点事項 | 1. 会員のスキルアップと知識体験の共有      |
|        | 2. 会員の発掘に努め人的・財政的基盤の強化    |
|        | 3. 会員の交流・参加機会の充実と結束の強化    |
|        | 4. 関係機関や地域の団体との連携強化と認識の共有 |

以下、実施した活動の概容を報告します。(以下ボランティアセンターをVCと表記します)

#### 1. 学習・訓練活動について

##### ○「災害ボランティアセンター(VC)設置・運営マニュアル」に基づく訓練活動

###### ◇2019年春季災害VC設置運営訓練 (H31/2/23)

- ・葉山社協と共催で、『ボランティア体験ロールプレイ』訓練を行いました。
- ・会員、町内会関係者、地域団体、葉山町・葉山社協など43名参加。

##### ○地域に適したVC運営とは何かを探る活動

###### ◇『葉山災害VCポータルサイト』の開発と充実

- ・平時サイトに加えて、発災時サンプルサイトを設置し双方の充実を図りました。
- ・H30年度は、ポータルサイトで、西日本豪雨被災地災害VC臨時掲示板をトップに設置し、「内閣府/防災における行政のNPO・ボランティア等との連携・協働ガイドブック」と「支援P/災害ボランティア用・活動資機材調達虎の巻」をアップしました。
- ・H27年9月開設以来のアクセス数は35,000回。現在は防災科研の事例紹介サイトの1つになっています。

###### ◇「葉山まちあるき」を昨年度に引き続き実施し、地域理解への掘り下げと地域住民との交流を図りました。

- ・「No.10：木古庭探検」(6/24)30名参加
- ・「No.11：上山口探検」(12/9)20名参加

##### ○ボランティアコーディネーター等養成研修にメンバーを派遣する活動

研修・訓練名	開催日	参加数
葉山町赤十字奉仕団野外訓練	8/11	2名
かながわ災害救援ボランティア支援センター立上げ訓練	8/12 H31/3/18	2
ビッグレスキューかながわ(県・海老名市合同総合防災訓練)	8/26	4
九都県市総合防災訓練	9/1	2
横須賀市及び関係団体共催「災害時VC設置運営訓練」	11/18	3
東日本大震災被災地訪問視察 (主催：横須賀災害ボランティアネットワーク)	11/20～ 11/22	3
てんでんこ金沢共催 Kids&Junior「防災キャンプ」見学	H31/2/8	5
KSVN「インターネット活用講座」(4日間)	7/17～8/16	2
神奈川県コミュニティカレッジ「災害時ボランティア活動実践訓練・災害におけるICT活用講座」講師・インストラクター	10/20	1
神奈川県コミュニティカレッジ「災害時ボランティア活動実践訓練・災害時VC立上げ訓練」	10/27	2

KSVN「神奈川県職員による緊急参集訓練」情報伝達収集と発信マップ作成支援	10/25	1
「震災対策技術展」(横浜) KSVN ブース	H31/2/8	1
KSVN「県災害ボランティア支援センター対応情報伝達訓練	2/16	2
県、KSVN、県社協、県共募共催「県災害ボランティア支援センター対応情報伝達訓練」	3/18	2
神奈川県講演会「かながわの広域災害ボランティアを考えよう！」	2/6	1
逗子市及び関係団体共催講演会「災害救援VCとは何か？」	3/9	3
葉山町防災講演会「津波・土砂災害・液状化～葉山町における地震災害への備え～」 (関東学院大学防災・減災・復興学研究所研究員若松加寿江氏)	3/10	3

## 2. 被災地支援活動について

○近隣の災害ボランティア活動団体と連携し、町民の被災地支援経験の機会を増やす活動

◇「7月西日本豪雨」被災地復旧支援活動

・岡山県総社市(7月)、岡山県倉敷市(8月)、広島県尾道市(9月)のVC支援に3名(各1名、うち1名は参加者管理運営を兼ね)がKSVNほかのボラバスに参加

・ボラバス報告会(11/17)には参加2名

◇被災地復興応援活動

・葉山海岸花火大会「被災地復興応援屋台」(7/26)

被災地の食品販売と募金活動。協力：森戸海岸海の家「FLAT」

・森戸海岸「100万人の線香花火ナイト」(8/11) 130名参加

・「3.11つなぐっぺし」(逗子・葉山の中高生主体で構成の団体)街頭募金活動に協力(8/23)

・葉山元町商店会主催ニコニコバザール

図書とTシャツの寄贈受付及び募金活動(H31/3/10)

Tシャツ30枚は女川高白浜草履組合に送りました。

古本6箱はバリューボックスを通して陸前高田図書館プロジェクトに送りました。

募金額は2,440円集まり、赤い羽根共同募金へ寄付の予定で保管中です。

・ボラバス派遣事業は実施しませんでした。

◇葉山語り場活動

・「西日本豪雨災害の被災地から学ぶ～災害支援活動報告会」(11/4) 15名参加

## 3. 広報活動について

○町内の各種イベント会場やその他でのHSVNの活動紹介

まちづくり展出展(福祉文化会館)	5/25～5/27	活動展示
葉山町長と面談	8/28	災害VC取り組みについてHSVNの考えを伝えました。
葉山町総合防災訓練参加 (会場：長柄小学校)	10/12～ 10/14	防災協力団体として活動紹介。「風呂敷で役立つ使い方」講習も展開。
ビッグハママーケットバザー参加 (会場：浜銀駐車場)	10/28	活動展示
葉山語り場開催(会場：元町開館)	11/4	活動展示

葉山町議会との意見交換会	11/8	HSV N の活動状況を全町議に説明し、理解と協力を求めました。
第3回スポGOMI in 森戸海岸参加	11/23	活動展示
一色・下山口地区合同防災訓練参加	12/8	活動展示
ニコニコバザール参加 (元町商店会主催のフリーマーケット)	H31/3/10	活動展示

#### 4. その他活動について

- ◇平成30年度 HSVN 総会<福祉文化会館大会議室> (5/19)
  - ・平成29年度活動報告、H30年度活動計画と予算が承認されました。
  - ・記念講演：栃木県鹿沼市社会福祉協議会柴田貴史氏  
「災害ボランティアセンター運営の実際・鹿沼の場合」
- ◇運営委員会（拡大運営委員会を含む）：毎月12回開催
- ◇HSVC 広報委員会2回開催
  - ・災害VCを立上げるとき、社協と HSVN は初期段階にそれぞれ何をするのか、共通認識と手順を共有するための委員会を設けています。
- ◇マニュアル・様式改定検討会：9回開催
  - ・2019年度上期中の改定を目標にしています。
- ◇「災害VC連携会議」(12/20)
  - ・参加団体からの報告、社協西日本豪雨災害職員派遣報告、発災時の葉山災害VCの拠点の現状確認と今後について打合せを行いました。
- ◇HSV Nの活動や仲間づくりの参考にするためのアンケート調査実施
  - ・春季訓練参加者にアンケートを実施しました。
- ◇三浦半島地区地域災害ボランティアネットワーク交流会 (10/5、12/14、H31/2/15)
  - ・葉山、横須賀、逗子、金沢区の隣接する災害ボランティアネットワークとの交流会を通じ、「三浦半島てんでんこ連絡会」について打合せを行いました。
- ◇横須賀災害ボランティアネットワーク総会に出席 (5/25)
- ◇神奈川災害ボランティアネットワーク総会に出席 (6/12)
  - ・HSV N から吉田見岳幹事が理事に選任され参加しています。

#### 5. 組織状況報告

- ◇平成30年度末 会員数            正会員 36名      賛助会員 13名

以上

## 収支報告

### 葉山災害ボランティアネットワーク 平成30(2018)年度収支報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

科 目	2018年度 予算(¥)	2018年度 実績(¥)	摘 要
<b>I 収入の部</b>			
1)会費	49,000	44,000	会員44名×@1,000
2)助成金	100,000	100,000	社協助成金
3)参加費	0	0	
4)寄付金	10,000	15,000	
5)繰越金	258,765	258,765	前年度より繰越し
6)預金利息	0	2	
<b>収入合計</b>	<b>417,765</b>	<b>417,767</b>	
<b>II 支出の部</b>			
<b>1 事業費</b>			
1)ボランティア コーディネータ養成研修費	15,000	15,500	ボランティアコーディネーター養成講座など
2)ボランティア訓練 講師謝礼	20,000	31,880	講演会、研修などの講師謝礼金
3)ボランティアセンター 設置運営訓練	50,000	16,800	訓練実施に係る諸費用、訓練備品など
4)ボラバス派遣関係費	100,000	0	『ボラバス』不催行のため出費なし
5)支援プロジェクト関係費	15,000	15,000	被災地視察補助
6)広報関係印刷費	18,000	23,330	各種催しのチラシなど印刷
7)ネット広報費	0	0	
事業費計	218,000	102,510	
<b>2 管理費</b>			
1)加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協会費
2)イベント保険	3,000	1,400	
管理費計	16,000	14,400	
<b>3 事務費</b>			
1)会議費	7,000	26,052	
2)交通費	0	25,000	
3)通信費	15,000	14,377	
4)消耗品費	15,000	15,948	
5)機材購入費	20,000	0	
6)雑費	5,000	13,524	
事務費計	62,000	94,901	
4 災害支援準備金	50,000	15,000	西日本豪雨被害支援活動助成
5 繰越金	71,765	190,956	
<b>支出合計</b>	<b>417,765</b>	<b>417,767</b>	

葉山災害ボランティアネットワーク  
平成30（2018）年度 ボラバス特別会計収支報告  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

『ボラバス』不催行のため収支報告なし。

以上

2019年 5月 19日

会計監査報告書

葉山災害ボランティアネットワーク  
代表 柿本 秀二 殿

会計監査 宮田 路子 

会計監査 松元 美恵 

葉山災害ボランティアネットワークの2018(平成30)年度会計監査を下記のとおり実施しましたので報告します。

記

監査実施日

2019年 5月 19日

監査書類

2018(平成30)年度収支会計報告書 および 関係書類

監査結果

上記書類について、厳正に監査を行った結果、いずれも正確かつ適正に取り扱われていることを認めます。

以上

## 【第2号議案】2019年度活動計画(案)

『平成』を、「自然災害が多発した時代」と評した方がおりました。確かに、雲仙岳噴火、北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、鳥取県西部地震、新潟県中越地震、東日本大震災、広島市土砂災害、熊本地震など大きな災害がこの30年の間に起こりました。昨年の、大阪府北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震は、まだ記憶に新しいところです。

私たちの近隣でも、三宅島噴火、伊豆大島土砂災害、西伊豆集中豪雨、関東・東北豪雨などが起こり、特に気候異常と関係あると見られている豪雨災害については、今後どこで起きてもおかしくないとまで言われています。

平成の大きな災害を経験し、私たちの対処の仕方も変わってきました。阪神淡路大震災(1995年)では、3か月間で延べ117万人がボランティアとして被災者を支援し、この年を境として日本のボランティア文化が根付き、「ボランティア元年」と呼ばれました。東日本大震災(2011年)では、圧倒的な自然の猛威、河川津波、帰宅難民など、私たちの想定外の出来事が起こりました。一方で、子供たちが“てんでんこ”で避難した『釜石の奇跡』が話題となりました。

“災害の発生を防ぐこと”はできませんが、“被害の軽減を図ること”は可能です。

そこでHSVNでは、本年度も、被災から立ち直る活動を積極的に支援し、そこから学び続けて行く活動を基本にして、下記の基本重点事項を活動計画として提案します。また、いつどこで災害の現場に直面するかわからないとの前提で、自身の判断で最良の選択ができるように、すなわち『自助』のスキルを高める防災教育の取り組みを始めることにします。

### 基本重点事項

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める
2. 災害VCの仕組み造りを推進する
3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る
4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める
5. 被災地支援活動を継続して行う
6. 新たに防災教育に関する取り組み(「葉山防災ラボ」)を始める

### 具体的活動内容

1. 会員のスキルアップを図り、ボランティアコーディネーター育成に努める
  - ① 災害VC設置運営訓練を行う(2020年春)。
  - ② 町内会や防災・減災に関心ある団体の要望を受け、ボランティア対応などについての出前訓練を行う体制を整える。
  - ③ 町歩き:町内を隈なく知って災害に備える(年度内3回実施予定)。
  - ④ 語り場:ミニ訓練も含めスキルアップと情報共有に努める(年度内3回実施予定)。
  - ⑤ ICT学習・活用ワークショップの開催を行う。
2. 災害VCの仕組み造りを推進する
  - ① マニュアル・様式検討を進める。
  - ② 社協と、「HSVVC広報委員会」を運営する。
  - ③ ポータルサイトの運営と充実に努める。

### 3. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る

- ① 「災害VC連携会議」に参加し社協・行政・町内の他団体との連携を図る。
- ② 「三浦半島地区地域災害ボランティアネットワーク交流会」(葉山・逗子・横須賀・金沢区)に参加し広域連携に向けて関係を強化する。
- ③ 上記四地域交流会主宰の「てんでんこ連絡会」の活動に協力する。
- ④ KSVN(神奈川災害ボランティアネットワーク)に理事を派遣し、情報共有、各種訓練に参加する。

### 4. 広報活動を通じて新会員の獲得に努める

- ① 葉山町総合防災訓練に参加し、HSVN の活動を紹介し会員獲得に努める。
- ② 浜銀バザー、まちづくり展などで広報活動を行う。
- ③ 懇親会で会員相互の親睦を図る。
- ④ 「社協便り」や「町広報紙」などに HSVN の活動(訓練告知など)掲載を依頼する。

### 5. 被災地支援活動を継続して行う

- ① 古本・古 T シャツを回収し収益を被災地支援の募金に充てる。
- ② 「復興応援屋台」での被災地製品の販売・募金活動を行う。
- ③ 「100 万人の線香花火ナイト」の追悼行事を行う。
- ④ “災害支援活動準備金”の積み立てを続ける。

### 6. 新たに「葉山防災ラボ」を立上げる

- ① 「葉山防災ラボ」では防災教育に関する事例研究を通じて、葉山において実効性のある防災教育の在り方と実行可能性を探る研究を行う。
- ② 研究活動を通じて随時実現可能な企画を立案し、年度内に試行する。
- ③ メンバーは HSVN 会員に限定せず、広く町民の参加を募る。

以上

【第3号議案】2019年度予算(案)

葉山災害ボランティアネットワーク 2019年度予算(案)

2019年4月1日～2020年3月31日

科 目	2019年度 予算(¥)	2018年度予算 (¥)	摘 要
I 収入の部			
1)会費	50,000	49,000	会員50名×1000円
2)助成金	100,000	100,000	年末たすけあい募金助成金
3)参加費	0	0	
4)寄付金	15,000	10,000	寄付金
5)繰越金	190,956	258,765	前年度より繰越し
6)預金利息	0	0	
収入合計	<b>355,956</b>	<b>417,765</b>	
II 支出の部			
1 事業費			
1)ボランティアコーディネータ養成研修費	20,000	15,000	ボランティアコーディネーター養成講座など
2)ボランティア訓練講師謝礼	20,000	20,000	講演会、研修などの講師謝礼金
3)ボランティアセンター設置運営訓練	20,000	50,000	訓練実施に係る諸費用、訓練備品など
4)ボラバス派遣関係費	0	100,000	
5)支援プロジェクト関係費	15,000	15,000	被災地視察費用など
6)広報関係印刷費	25,000	18,000	チラシなど印刷
7)ネット広報費	0	0	
8)防災教育研究	50,000	0	「防災教育研究会」活動費
事業費計	150,000	218,000	
2 管理費			
1)加盟会費	13,000	13,000	KSVN、社協会費
2)イベント保険	2,000	3,000	
管理費計	15,000	16,000	
3 事務費			
1)会議費	20,000	7,000	
2)交通費	20,000	0	
3)通信費	15,000	15,000	
4)消耗品費	15,000	15,000	
5)機材購入費	20,000	20,000	
6)雑費	15,000	5,000	
事務費計	105,000	62,000	
4 災害支援準備金	50,000	50,000	
5 繰越金	35,956	71,765	
支出合計	<b>355,956</b>	<b>417,765</b>	

以上

【第4号議案】規約改正(案)

葉山災害ボランティアネットワーク規約を以下のように変更する。

従前	変更
(役員)	(役員)
第8条 本会に、次の役員を置く。	第8条 本会に、次の役員を置く。
(1) 代表 1名	(1) 代表 1名
(2) 副代表 2名	(2) 副代表 若干名
(3) 会計 1名	(3) 会計 1名
(4) 会計監査 2名	(4) 会計監査 2名
(5) 幹事 若干名	(5) 幹事 若干名

以上

【第5号議案】役員改選(案)

2019年度役員を下記のとおりとする。

就任

役職	氏名	
代表	柿本 秀二	留任
副代表	矢嶋 恵子	留任
副代表	西山 利廣	留任
副代表	吉田 見岳	新任
会計	小峰 梅男	留任
幹事	岡村 恭子	留任
幹事	窪田 美紀	新任
幹事	佐藤 文彦	留任
幹事	千葉 綾	新任
幹事	中村 和雄	留任
幹事	増田 佳恵	留任
幹事	松平 克己	留任
会計監査	松元 美恵	留任
会計監査	吉田 健太郎	新任
顧問	丸 恭輔	留任

退任

会計監査	宮田 路子
------	-------

以上